

議会だより



平成30年8月1日

第84号

新庁舎にイイね



大津中学校吹奏楽部3年生の皆さん

詳しくは
広報おおづ7月号を！

特集！

不適切な事務処理に対する
町長の監督責任は4
尚絅大学生によるレポート
.....14~15

紙面リニューアル
第2弾！



この議会だよりは
リサイクル推進のため
再生紙を利用しています。

第2回 ジュニアリーダー夢議会 (中高生議会) が開催されます！

6月9日(土)「第2回ジュニアリーダー夢議会」に参加する生徒達が傍聴に来てくれました。

夢議会当日は、町内中学校、高校の10人が議会傍聴や学習会を重ねた集大成となる「より良い大津町」に向けた提案を、本物の議会さながらに町長・教育長へおこないます！

ぜひ会場へ
お越しください！

第2回ジュニアリーダー夢議会

10/3
(水)

時間：午後1時30分～

場所：大津中学校 体育館



議会広報編集特別委員会

議長…桐原 則雄
発行責任者
委員
三宮 美香
山部 良二
山本 富二夫
金田 英樹
副委員長
豊瀬 和久
委員長

編集後記

誰にでも、わかりやすく、親しまれる議会だよりを目指し、子育て世代や高校生など幅広い世代の声をもとにして、紙面の刷新をおこないました。

合わせて、スマートフォンなどで気軽に読めるようにアプリでも配信を始めました。

また、記事を吟味することによりページ数を減らし、発行経費の削減にも取り組んでいます。今後とも、時代の変化に遅れないように、刷新を進めて参りますので、よろしくお願い申し上げます。

(豊瀬)

※傍聴に来てはいよ※

議会はどなたでも自由に傍聴できますので、ぜひお気軽にお越しください！

●日程●

9月3日(月)～
14日(金)予定

●会場●

オックスプラザ 2階
ふれあいホール



議員の賛否を公開します

上程された議案・概要	桐原 則雄	府内 隆博	荒木 俊彦	津田 桂伸	永田 和彦	手嶋 靖隆	坂本 典光	大塚龍 一郎	源川 貞夫	本田 省生	佐藤 真二	豊瀬 和久	金田 英樹	山本富 一	山部 良二	三宮 美香	賛成 (○)	賛成 (●)	反対 (○)
税条例等の一部を改正する条例 地方税法等の一部を改正する法律等の公布に伴い、税条例の一部について改正を行ったもの	-	○	●	○	○	○	○	○	○	○	●	○	○	○	○	○	12	3	
国民健康保険税条例の一部を改正する条例 地方税法等の一部を改正する法律等の公布に伴い、国民健康保険税条例の一部について改正を行ったもの	-	○	●	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	14	1	
町長等の給料の特例に関する条例の制定 議会の議決を失念した契約事案の不公正な事務処理等に伴い、町長の給料の10分の1を3ヶ月、副町長の給料の10分の1を1ヶ月の減額措置を行う条例の制定	-	○	○	●	●	○	○	○	○	○	○	●	○	○	○	○	12	3	

※議長は議事進行を行うため賛否表明はしません。賛否の別れた議案のみ掲載しています。
その他の議案については議会ホームページ、会議録をご覧ください。

大津町議会 検索



庁舎建設特別委員会
意見書提出

議会全体で協議を深め
意見書を提出しました。



議員間ワークショップ

検討内容の詳細は、議会ホームページ（委員会）に掲載しています。

今回の「新庁舎建設における意見書」は、より住民目線でのレイアウトや人に優しい施設になるよう、設計していただくために申し入れを行なったものです。

▼新たな提言
住民の皆様の利便性向上、新庁舎を拠点としたまちづくりの実現、行政機能や災害対策機能の向上、そしてより開かれた議会に向けて「新庁舎建設に関する提言（H29・9）」「新庁舎建設に伴う議会関連施設・整備（H30・2）」提言してきました。

▼計14回にわたる議論
議会は、H28年10月に新庁舎建設特別委員会を設置するなどし、これまで様々な場で議論を重ねてきました。

▼これまでの提言

6月定例会を土日を含む、6日から11日までの会期で開きました。
(傍聴者はのべ63名)

今定例会では、一般会計補正予算をはじめ、産業振興に向けた「中小企業への固定資産税減免」や、不適切処理に伴う過去複数の契約事案および「町長等の給料減額に関する条例の制定」などの29議案を審議・可決しました。

町が失念していた過去の専決処分（※下部参照）についても審議・承認しました。

さらに、議会活性化に向けた「会議規則の変更」や「地域材の利用拡大に向けた意見書」を全員賛成で可決しました。

議案質疑 ここを聞く！これを問う！

税条例の改正

佐藤 真二 議員

他自治体では、必要な項目だけを専決している。全部を専決する必要はない。

【答】 周知期間も必要と考えた。国の改正見本に従っている。他の自治体のやり方なども研究する。

議決なしの備品等購入

金田 英樹 議員

今回の案件に留まらず、事務全体の規律徹底および手順の見直しが必要だ。

【答】 職員研修や手順確認なども通して全体的な規律徹底や改善を図る。

崩落防止工事

手嶋 靖隆 議員

美咲野地区の崩落防止工事は、どのような被害への対応か。

【答】 調査で道路の段差やブロックのひび割れがわかっている。

中小企業への減免措置

※企業が新規に設備投資をした場合に、償却資産に係る固定資産税を減免する特例措置です

豊瀬 和久 議員

中小企業への周知徹底および設備導入計画を作成しやすいようにサポートをするべきだ。

【答】 広報おおづとホームページに掲載する。商業観光課に相談窓口を開設し、サポートする商工会や金融機関との橋渡しを行なっていく。

荒木 俊彦 議員

町が固定資産税をゼロにしても、中小企業が補助金を受けられない事例があるのか。

【答】 補助金には枠があるので100%採択されるとはかぎらないが、申し込みが多い場合には、補助金が追加される可能性はある。

永田 和彦 議員

中小企業の設備投資への固定資産税を減免する場合、認定は、どこが、どのような判断で行うのか。

【答】 企業が作成した先端設備導入計画が、町の導入促進基本計画に合致しているかを町が判断し認定する。

※【用語の解説】 専決処分（センケツショブン）

町長が予算や条例などを議会の議決を経ずに自ら決めることで、地方自治法に定めがあります。急を要するなどの理由で会議を開くことができない場合などに行われ、町長は専決処分後、最初にかれた議事に報告して承認を求める必要があります。ここで議会の承認が得られなかったとしても専決処分の効力に影響はありませんが、長の政治上の責任が残るといえます。

委員会レポート

総務委員会・経済建設委員会・文教厚生委員会の3つの常任委員会があります。
議員は必ずどれかの委員会に入らなければなりません。
全議員が出席する本会議とは別に、各委員会でもその委員会に委ねられた議案に対する話し合いがされます。

総務委員会	町全体の総務・企画・会計・監査、議会、選挙、その他
経済建設委員会	経済、土木、工業用水道、農業
文教厚生委員会	福祉、子育て、教育、住民

不適切な事務処理に対する町長の監督責任は

過去10年にわたり、議会の議決を得ずに備品や土地を購入していた案件が複数発覚したため、6月定例会において議決と承認を行いました。

また、それに関連して町長の給料1/10を3か月間、副町長の給料1/10を1か月間減額する条例の制定を審議しました。

各審議にあたっては、町の事務体制や規律を問う質疑や、再発防止に向けての意見が多数出されました。議会としても、町政の両輪の一つとして、一層の規律徹底に努めます。



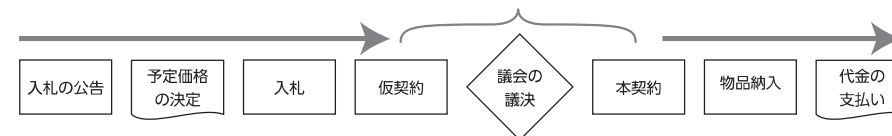
議会全員協議会（5月30日）

Q 問題の概要は？

A 町の条例では、先に審議を行う予算に加え、予定価格700万円以上の物品と土地（5000㎡以上）の取得については別途議会の議決が必要です。しかし、過去10年で電子黒板など6件と土地2件について議会への提案を行わないまま購入していました。また、同じく議会へ知らせる必要のあった発注工事5件の契約価格変更も報告されていませんでした。

一般的な契約事務の手順
（一般競争入札・予定価格700万円以上の財産の取得の場合）

※今回の事案はこの部分の過程を経ずに、相手方との契約を結んでいた。



総務委員会 レポート

安心して暮らせる 災害に強いまちづくりを

意見
消防施設等への用地購入補助を検討する段階に
来ているのではないか。



防災倉庫

Q 防災倉庫等の整備関係で建造物には補助制度はあるが、用地取得の補助制度は。
A 生涯学習施設等への補助制度はあるが、消防施設への用地購入の補助金はない。
地域型防災まちづくりの推進
防災力を高める

討論 賛成

すでに何度も反省の言葉を述べられており、気持ちにはわかるが、誰かが責任を取らなければいけない。

そして、誰がどの程度の責任を取るのか考えなければいけない。
町長が示した責任者としての思いを踏まえて理解を示したい。



佐藤 真二
議員

討論 反対

町長始め、職員は、深く反省されるとともに、チェック体制の強化、新たなシステムの構築、職員の研修体制などの再発防止策を作られており、これ以上の処分は必要ない。

また、今回の事案に対して、このような重い処分を行うことは、誤った前例を作ることになる。



豊瀬 和久
議員

討論 賛成

議会の議決を怠った法令違反である。万が一、不正な契約があったら町民に対して大変な被害を与えてしまう重大な問題。だから自治法でダブルチェックの体制がある。町長は責任を示して、教訓として二度と起こらないように範を示さなければならない。



荒木 俊彦
議員

討論 反対

町長の意気込みはわかるが、多くの町民は減給処分を望んではいない。望むことは、今後このようなことを起こさないための体制づくりだ。処分はその体制ができてからの問題だ。そして今回の不適切な事務処理は、あくまでも失念ということも勘案するべきだ。



永田 和彦
議員

町政を問う 6月定例会 一般質問

10議員が質問に登壇！

大津町のさまざまな課題等について、議員が町に考えを聞くのが一般質問。議員は政策提言も含めて、質問することができ、内容は自由です。ここでは、質問した議員ごとに一項目を要約してお知らせいたします。

- | | |
|-------------|-------------|
| 1. 豊瀬 和久議員 | 6. 三宮 美香議員 |
| 2. 山本 富二夫議員 | 7. 坂本 典光議員 |
| 3. 荒木 俊彦議員 | 8. 府内 隆博議員 |
| 4. 山部 良二議員 | 9. 手嶋 靖隆議員 |
| 5. 金田 英樹議員 | 10. 永田 和彦議員 |

Q 小・中学校の遠距離通学にかかる費用を助成するべきだ

A 今年度中に方向性や対応を整理したい



吹田団地から公共バスで大津小学校へ通う児童

豊瀬 和久議員

遠距離であったり、交通量が多く危険なところを通学する場合には、安全確保のためにすべての学校にスクールバスを導入することが町民の願うところである。

しかし、それには、多額の財源がかかるので、現実的な方法として、民間のバスで通学していただくことが安全を確保するの一番いい方法ではないかと思う。

そのような場合には、スクールバスが導入されている学校との公平性の観点から、民間のバスで通学する費用への助成が必要だ。

その他の質問

- ・結婚に伴う住居費や引越越し費用などを補助する結婚新生活支援事業について
- ・健康ポイント事業について

(教育長)

経済建設委員会 レポート

攻めの園芸生産対策補助金の積極的活用を



乗用管理機

攻めの園芸生産対策事業補助金の活用

補助金による機械導入に伴う対象面積はどの程度か。

A 現在の甘藷栽培面積が30ヘクタール、5年後の目標面積は33ヘクタールである。

また、人参の栽培面積は現在3ヘクタールだが、3・5ヘクタールに拡大する計画である。

※1ヘクタールは100m×100m

Q 事業に取り組む農家は12名で組織された機械利用組合とのことだが、町全域の農家なのか。

A 事業に取り組む12名は、全員がJA菊池甘藷部会員で、町内全域の主力農家。メンバーの大半は後継者である。

Q 土木部職員の配置はどうか。

A 数年前から職員数は変わっていない。新規技師の採用もあつたので、研修もしながら、業務を行っている。道路維持については住民からの苦情なども多く、今後ますます対応が大変になるものと思う。

Q 震災後、交通量の増による問題があるかどうか。

A 道路に関する苦情にすばやく職員で対応できるように努めている。

国道57号迂回路に伴う諸問題について

文教厚生委員会 レポート

学習環境の整備と地域包括支援センターの今後



学校の電子黒板

学校の電子黒板の整備を急いで！

Q 学校の電子黒板の整備状況や近隣市町村の状況はどうか。

過去の導入状況を見ると、年度によって異なるメーカーの電子黒板を購入している。

先生たちにとっては使い勝手が異なると使いにくいのではないかと。

A H29年度から5年計画で整備する予定。近隣では、菊池市は整備が終わっている。



大津町地域包括支援センター

大津町地域包括支援センターの今後の運営は

Q これから介護認定を受ける高齢者が増えていく状況で、人材確保や職員を育てる仕組みなどを検討する必要があると思うがどうか。

A 現在は町職員一人と社会福祉協議会からの出向者で対応しており、基準を満たす状況。センターは町が直接運営しているが、今後は検討中。相談者も増えているので、早急に必要なことがある。

Q 創造的復興に向けてスポーツの森駅設置を

A 復旧工事とあわせた新駅の設置は難しい

山部 良二議員



立野駅のホーム

その他の質問

- ・特定事業主行動計画について
- ・中央防災訓練の抜本的な見直しを

問 今現在、立野（肥後）大津間は地震の影響で運休しており、今であれば、列車見張員も要らず、夜間作業ではなく日中に作業ができ、しかも夜間作業に比べ、長時間作業ができるため、工期も短縮できるので、豊肥線が復旧前のほうが費用が抑えられるのは確実であり、また、スポーツの森を利用する子供たちは肥後大津駅や学校から徒歩で移動する子供たちも多数いると聞く。駅もなくバスも運行していないのか、本当にこれでもいいのか、

答 今現在、立野（肥後）大津間は地震の影響で運休しており、今であれば、列車見張員も要らず、夜間作業ではなく日中に作業ができ、しかも夜間作業に比べ、長時間作業ができるため、工期も短縮できるので、豊肥線が復旧前のほうが費用が抑えられるのは確実であり、また、スポーツの森を利用する子供たちは肥後大津駅や学校から徒歩で移動する子供たちも多数いると聞く。駅もなくバスも運行していないのか、本当にこれでもいいのか、

Q 児童の見守りと安全確保(科学が支える被害防止)

A 危険情報の一元把握と早期対策は有効である

金田 英樹議員



ハインリッヒの法則

1 件の重大な事故の裏には29件の軽微な事故、その背景には300件のヒヤリハットがある。航空機事故対策などでも取り入れられている概念であり、徹底した早期把握と対策が未然防止に繋がる。



その他の質問

- ・個別集落から考える全体のまちづくり

問 児童が巻き込まれる重大事件や、自然災害が各地で起こるなか、科学に立脚した緻密な危険箇所把握・安全対策が必要である。また、防犯カメラやLED街灯などの機器も有効である。児童の安全確保に向けて、具体的に6つ提案する。

答 ①データと科学的根拠に立脚した安全対策として、「危険なできごとカルテ」等で危険情報を一元的にとらえ対策することは、有効であると思うので、できる部分から取り組みたい。
②実効性の高い防犯訓練や危険の察知・回避能力向上に向けた教育は、各学校で充実化を図る。
③街灯LED化を含め、危険エリアへの対策は、関係部署と協議する。
④歩行および自転車乗車時の視認性向上策は、提案内容を各校でPTA等と協議するように考えたい。
⑤地域の視点で見守りは、PTAや地域と共に、情報共有や改善策を検討する場の充実を図る。
⑥家庭や地域への意識啓発に関しては、現状を正確にとらえ、更なる向上に努めたい。（教育長）

Q 小中学校の雨漏り現状とトイレの洋式化

A 雨漏り対応、優先的に改修を進めたい

山本 富二夫議員



*校舎の雨漏り状況

大津小	廊下・特別教室
美咲野小	プレハブ校舎の手洗い場 プレハブ校舎と校舎の通路に雨よけひさしの設置を
大津南小	廊下・音楽教室 (地震後 窓のガラス戸が閉まらず)
大津北小	廊下階段
大津東小	校舎とトイレの隙間から
大津中	各所の廊下 (20ヶ所以上) 普通教室・特別教室
大津北中	廊下

その他の質問

1. 鳥獣被害対策
2. 再度の危険地域の確認と住民への周知徹底を

問 大津小学校の廊下と特別教室。美咲野小学校のプレハブ校舎の手洗い場等の雨漏り対策がされていない。
南小学校では、地震の時、窓ガラスが開いたまま閉まらず、そのまま放置されたまま、大津中学校3階の廊下の雨漏りも、床がガタガタ本にひどい状態だ。
答 心の痛い思いをしている、しっかりと取り組んでいく。（町長）
答 優先的に今後改修を進めていきたい。（教育長）

問 小学生から、学校のトイレはウォッシュレットではないから学校のトイレで排便はしないと、我慢する生徒は授業に、身が入らない。
また、ある学校では4年前まで、妊婦の先生が4名いたが、和式トイレしかなく、身障者用の手すり棒で対応した。
答 学校施設の改修計画を策定し、計画に基づき進めたい。（町長）
答 トイレの洋式化や洗浄機能導入も含め計画的に整備を進めたい。（教育長）

Q 57号バイパス「大津交差点」の改良、歩道橋の架け替えを

A 町一番交通量の多い交差点 国・県とも協力して努力する

荒木 俊彦議員



大津バイパス歩道橋（築46年経過し相当傷んでいます）
朝の通学風景、大津中・大津高校の学生300～400人が利用しています

その他の質問

- ・高すぎる国保税、子どもへの課税は軽減を
- ・まちづくり交流センター音響設備の改善が必要

問 ①国道57号バイパス開通から46年経過したが「大津町交差点」は開通時の狭いま、改良は全く進んでいない。改めて国・県と協議して交差点改良に努力が必要ではないか。
②同交差点にかかる横断歩道橋も舗装がはがれて、相当傷んでいる。大津中生、大津高校生が毎日300人以上通学で渡っている。歩道橋の管理者は国であるが、熊本県も大津町も学生・生徒の通学路の安全に責任がある。国・県・町で知恵を出し合い自転車も押して渡れるような安全で素敵な

歩道橋に架け替えを検討したかどうか。
答 ①町で一番交通量の多い交差点であり、改良の必要性は認識している。南側の県道は大津高校前まで一部ではあるが県の改良計画で、測量に入っている。交差点の拡幅は地権者の協力が必要であり、引き続き努力したい。（町長）
②歩道橋は確かに損傷が進んで舗装はがれつつある中で、国の補修工事を要請している。自転車も渡れる架け替えは勾配を確保するのが難しい。（土木部長）

Q 森林環境譲与税の確実な実施の必要性

A H31年度からの事業実施に向けて計画

森林環境税及び森林環境譲与税の創設

森林吸収源対策に係る地方財源を確保するため、次期通常国会における森林関連法令の見直しを踏まえ、平成31年度税制改正において、森林環境税及び森林環境譲与税を創設。

- 【森林環境税】
 - ・森林環境税は、国内に住所を有する個人に対して課する国税。
 - ・税率は、年額1,000円とし、市町村が個人住民税と併せて賦課徴収。
 - ・市町村は都道府県を経由して国の交付税及び譲与税配付金特別会計に払い込む。
 - ・森林環境税は、平成36年度から課税。
- 【森林環境譲与税】
 - ・森林環境譲与税は、森林環境税の収入額に相当する額とし、市町村及び都道府県に対して譲与。(譲与基準及び経過措置は別紙参照)
 - ・市町村が行う間伐や人材育成・担い手の確保、木材利用の促進や普及啓発等の森林整備及びその促進に関する費用並びに都道府県が行う市町村による森林整備に対する支援等に関する費用に充てなければならない。
 - ・使途等を公表しなければならない。
 - ・森林環境譲与税は、平成31年度から譲与。

その他の質問

- ・減反廃止後の米生産目安について
- ・過疎地域の活性化対策に熊本県立林業大学を誘致しては？

府内 隆博議員



問 森林組合系統の長年の悲願であった森林環境税が個人住民税均等割に上乗せする形で一人当たり1千円、6年後の2024年度から徴収される見込みとなる。森林整備の緊急かつ確実な実施の必要性を考慮し、この新税を活用する新たな森林管理システムは5年前倒しでH31年度から開始される。その財源として森林環境譲与税が市町村に対して譲与されることになる。今後、町として地域の森林整備をどのように推進するか。

答 新たな森林管理システムは、今年度でその方針計画を策定しながら、H31年度からの事業実施に向けて計画を進めている。(町長)

答 森林環境譲与税の制度では、自力で管理ができない山を町が経営管理を受託した上で、意欲と能力がある森林事業者に再委託し、荒廃した森林を整備する。町としては、地域林政アドバイザーに橋渡しを行いながら併せて効率的に整備できるような森林の集積・集約をしていきたい。(経済部長)

Q 熊本文化の森・道の駅大津震災後の施策を問う

A 防災の拠点づくりと地域顧客の拡大を図る

手嶋 靖隆議員



文化の森・道の駅大津

その他の質問

- ・空き家の実態と対策の進展は
- ・家屋の耐震診断の現状と対応について

問 現状を見ると施設の老朽化、一部補修、未利用施設等、実状を見て厳しい運営の実態が推測される。よって今後は全国道の駅との情報共有に努め固定客の増と地域顧客の拡大、防災の拠点として町防災の一端を担う安心安全な、まちづくり共同体としての文化の森・道の駅大津を構築を図るための施策の展開を伺う。

答 今回の震災を踏まえ、全国の道の駅連絡協議会を通じて地域物産の全国販売と地元固定客の確保に努め、野菜関連の販売と大津町道の駅・ブランド製品としての取組み、月例祭、イベントを行い全国でも指折りの道の駅に従業員一丸となって頑張り事業の発展に期するとともに地元の我々も、しっかりと支援をしてまいりたい。(町長)

答 今後の施策については、お客様の過半数以上が県外客であり多くの観光に依存していることから今後は地元大津町と周辺地域のお客様に来ていただける仕組みづくりが重要と考えられる。(経済部長)

Q 学校の環境整備のために、もっと教育費を！

A 予算確保でき次第、早急に対応する

三宮 美香議員



町内の学校

その他の質問

- ・子どもの安全見守りについて

問 町内の2つの中学校の雨漏りの状況について、衛生的でなければならぬ保健室が雨漏りが続いている。黒かびになっている。他の天井も電球周りでの雨漏りもあり危険な状況。

答 各学校の教育施設等については、再度見直し、必要箇所は即対応する方向で、教育委員会でもしっかり対処していただく。(町長)

答 子どもたちに迷惑をかけているという実感があふれている。できるだけ早急に対応したい。(教育長)

Q 道徳教育の必要性

A 道徳科がスタート

坂本 典光議員



事件を伝える記事

問 滋賀県で19歳の警察官が上司をピストルで射殺したり、大学アメリカンフットボールの試合で、日大の選手が故意に相手選手を負傷させたことと疑われる事件があった。社会から隔離されて一人で生きていくことができるならば、自分の思い通りに生活できるが、社会という集団の中ではそうはいかない。社会で生きていくためにはそれなりのルールとそこで生きていく精神力とか技術が必要である。小中学校での道徳教育の現状と問題点を問う。

答 道徳教育は、自己の生き方を考え自立した人間として他者とともによりよく生きるための基盤となる道徳性を養うことを目標としている。学習指導要領では、道徳教育は学校の教育活動全体を通じて行うとされている。これまで教科外として取り扱われてきた。しかし社会が急速に変化し、道徳教育の重要性が増してきた。特別な教科「道徳科」が、小中学校ではH30年度から、中学校ではH31年度からスタートする。(教育長)

その他の質問

- ・上井手と市街地を流れる支流の管理について

「議会だより」の改善に向けた 意見交換を実施しました

広報おおづ編集関係者

ひらがなや漢字などの表記は統一したほうが読みやすい



裏表紙にも人物写真など興味をひくものを掲載したほうがいい



フォントの種類やサイズの統一、イラストは同じ作者のものを使用したほうがいい



8 9 10 11 12 13 14
15 16 17 18 19 20 21
22 23 24 25 26 27 28
29 30 31 1 2

巻頭記事があると何が載っているのに興味をひく



マチイロで配信する場合の記事は、1ページにまとめたほうが読みやすい



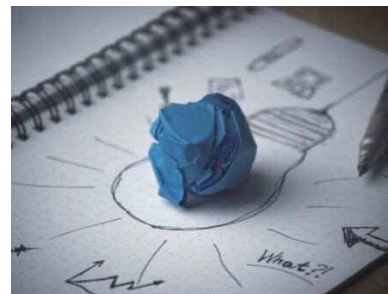
ご意見を参考にユニバーサルデザインフォントにしました

町PTA役員との意見交換会でのご意見を参考に今号から可読性の高いユニバーサルデザインフォントを使用しています。
「情報は満載」でも文字は読みやすくを目指しています。

新教育長に望まれる時代に沿った教育とは

A 新学習指導要領は変化の時代に対応する指針である

永田 和彦議員



現実の分析や時代の流れを理解できていない教育は無責任かつ危険である。インターネットの及ぼす影響、人工知能やIoT、第4次産業革命と、この大きなうねりを理解し、新しいプラットフォームを構築するがごとく創造的教育を所信としなければならない。

時代の流れや変化等について現状を把握しながら、状況に応じた教育を進めることは非常に重要なことであり、家庭や地域、そして学校がそれぞれに連携協力しながら、高度情報化社会において

も適切に対応できる子どもも育成を図っていくことが必要である。

例えば、保護者も含めたコンピュータセキュリティの必要性への理解、インターネットによるトラブル防止等の情報モラル教育や家庭におけるスマホのルールづくりなど、家庭を巻き込んだ取り組みを今後も推進し、H32年度からの新学習指導要領におけるプログラミング的思考を育成する教育内容に準じ発達段階に応じた指導を充実させることが必要だと考える。

(教育長)

その他の質問

・高齢化する貧困について

経済建設委員会 意見交換会

地域の課題を関係団体と協議し 今後活かして

6月7日(木)、経済建設委員会は、地域の課題を協議するため関係団体との意見交換会を開催しました。

【大津町建設業組合】
発注時期の標準化を願いたい。

町が発注しているのは、国庫補助を含む大きい工事であり、適正な価格である。終わらないものは工期の変更で対処して欲しい。今後でも対応したい。

【大津町商工会】

地蔵祭補助金について、150万円の増額を要望したが、100万円の増額に留まり、当初の計画よりも打上げ花火の規模を縮小せざるを得ない。

永田委員

観光協会が地蔵祭を担うのも一案ではないか。

金田委員

主催する商工会自身も会員自ら協賛金集めに奔走している。

【永田委員】
打ち上げ花火への助成は、投資的経費であり、答えをすぐに求めるのは難しいと思う。

金田委員

自主財源を得るため、指定管理や朝市などに今後、どう取り組むのか。

【肥後おおづ観光協会】

利益を追求するために一般社団法人化することが必要であり、本年7月から移行の予定である。その後、町からの指定管理を受けていきたい。



学生同士の意見交換ではこんな声がありました！

【深見（文責）、松岡、堀、遠山、増田、本田、高見グループ（'ω'）ノ

Q1. 議会を傍聴して、良い印象を受けたところは？

A1. 質問者の方々は現場の意見など、現状の把握に力を入れ、その上で議会に臨まれていたことに好感を持ちました。

Q2. 通告内容について、どのような印象を持った？

A2. 全体的に、新しい制度の提案よりも改善案の方が多かったように思いました。そこには、堅実で着実な政策で住民の方々の願意へ向き合おうという姿勢が見られました。

しかし、住民の方々の要望といえども、町全体で見ると「他に優先されるべきものがあるのではないか？」と思わざるを得ない内容もありました。

Q3. 質疑応答の様子についてはどのように感じた？

A3. 専門性のある質問には町長の答弁に加えて管轄の部長が詳しく答え、私たちにも理解できる必要十分な説明がなされていました。欲を言えば、答弁に際して補助資料が配布されれば良いと思います。そうすれば、議会後、内容を再読したり、熟考したりすることの助けとなり、住民がより町の政治に参加しやすくなるのではないのでしょうか。

Q4. 議会を傍聴しての全体的な感想は？

A4. 初めて大津町の議会を傍聴しましたが、私たちの中には大津町民が少なく、地名や議題に疎かったため、論じられているやり取りでしか状況を把握できなかったことが悔やまれます。

しかし、「自分の住む町ではどのような議論が繰り広げられているのか」、「住民が日々感じる町の問題点に議員は気づいているのか」、「個人的に感じる不満は対処されているのか」など、それぞれが地元の行政に興味を持つ良いきっかけとなりました。



中には厳しい意見もチラホラ……

【田邊（文責）、浦田、榎本、大橋、緒方、川本、村本、山下グループ（'◇'）ズ

Q1. 国会とはどのように違っていた？

A1. 国会はヤジが飛んだり時には居眠りしている議員がいたりという自由な印象のある場面がありました。また、国の問題を議題にしておき難しいと感じることが多かったです。

しかし、大津町の議会は淡々と質疑応答していて緊張感があり議題には身近な生活問題が挙げられていて共感する部分があって真剣に傍聴できました。

Q2. 他に印象は？

A2. 質問者の中に現地調査をされている方がいて、町のためにそのような行動をしているのだと知りました。今回貴重な体験をさせていただいたことをきっかけに、私たちの町の議会も傍聴し、どのように町を良くしているのかについて考えていきたいです。



尚綱大学生によるレポート 13

町をより良くする熱意が感じられた！



高見真歩
▶現代文化学部1年
▶玉名市出身

私は今回、社会調査法という授業の一環で初めて議会を傍聴しました。

議会では、大津町をより良くしていくために、町が抱えている問題について話し合いが行われました。

小中学校の雨漏り対策については、今後は優先的に対応されるという事で、災害時のためにも早めに改善されることを期待したいです。

町の活性化のために新しい駅を設置することについては、費用は

どのくらいかかるのか、町の人たちはどう思っているのかという点に気がなりました。

また、私は新しいことをするのも大切だと思いますが、まずは今ある問題を解決していくことを優先するべきではないかと思いました。

今回の議会では、全体的に地域の問題について、解決策を前向きに検討されていたのが印象的でした。議員さんたちのやり取りからも、大津町をより良くしていくこととする熱意が感じられました。

また、議会の傍聴を通して、私たちのような若い世代の人にも興味を持ってもらい、町の人々の意見を取り入れた町づくりをもっと行っていきたいと思いました。

今回は議会を傍聴しての感想と、学生のディスカッションの様子をお届けします！



遠山悠里
▶現代文化学部1年
▶熊本市出身

初めて議会を傍聴した感想としては、テレビでよく見る国会を想像していたため、持っていたイメージと大きく異なりました。

乱雑に進む話し合いではなく統率の取れたもので、人の発言を人の発言で遮ることもなくとても聞きやすかったです。

さらに、議会という言葉や聞いた難しいことを話すというイメージでしたが、実際は私たちに身近なところの話をしているのだと知ることができました。

内容も聞いてみると、専門

的知識等のない私でも大まかに理解できるもので、町の実状を知ろうという機会のように感じました。

政治や議会など、言葉だけ聞くと敬遠しがちで遠い存在のように感じてしまうことが多いです。しかし、自分が住んでいる地域など身近で小さなところでも行われていることを知れば、少しでも関心が向くのではないかと思います。

今回話し合われていた質疑応答を聞いて、議会は私達が安全で、住みやすい街を作るのに関わっているものであることが分かりました。したがって、私が住んでいる町の議会でも、どのようなことが話し合われているのかについても調べたいと思います。

議会は意外に身近で分かりやすかった！